

Soceity5.0とGIGAスクールの関係と本事業の関わり

地方創生交付金「Society5.0タイプ」の概要

Society5.0未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデル

Society5.0とGIGAスクールは、
下図のように繋がっています。

Society5.0未来技術

本事業における『ポリネコ!』

デジタルツイン、メタバースとユニバース等表現は増えていますが、地域経営、地方創生に関わるシステムはまだありません。
本事業は初の事例となります。

Society5.0とは

サイバーとフィジカルを高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

出典：内閣府資料など https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

GIGAスクールの目的

Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びを実現する

出典：内閣官房資料など [GIGAスクール構想など教育のデジタル化の推進に向けた政府全体の取組について](#)

個別最適な学びのためには、ひとりひとりの学びの認識、方向性が本人から示され、周囲と共有されること
協働的な学びには、お互いの学びの方向性を示し合うことが必要ですが、そのためのコミュニケーションシステムはまだありません。
本事業は、この課題を克服する初の事例となります。

政策連携の構造

Society5.0タイプの概要

Soceity5.0未来技術を活用した新たな社会システムづくり

提案タイトル案

千曲市の将来ビジョンをSociety5.0型地域社会として実現する
住民参加コミュニケーション環境の実装と運営

千曲市将来ビジョン

千曲市の目指す将来像
人をてらす
人はぐくむ
人がつながる
月の都
～文化伝承創造都市・千曲～

総合計画



未来技術



ひとりひとりとの
データとファクトを
踏まえた意思、認識
データをもとに、
各政策をより良くし
つつ、連携させる
未来技術による
コミュニケーション

千曲市将来ビジョンを
Society5.0型地域社会として具現化

Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びを実現する

①

教育（GIGAスクール）学校ごと、若者議会

②

①に基づくデータで、10代へのサポートをプッシュ型に

福祉（ヤングケアラー、学習機会損失などへの対応）

③

①に基づくデータで、10代へのサポートをプッシュ型に（就業・起業・留学）

産業振興（学習指向とやりたい事のマッチング・支援）

④

①の参加者を基盤に全住民を対象に個人の認識ベースで計画を策定

防災・減災

⑤

①の参加者を基盤に全住民を対象に個人の認識ベースで計画を策定

交通

⑥

①の参加者を基盤に全住民を対象に地域の産業の共通目標を構築した上での
地域ポイントの運営を可能に

地域ポイント

⑦

①の参加者とデータを基盤に子育てしやすい環境、関係住民の地域参加を実現

人口ビジョン政策